

加藤 史帆、『ゼクシィ』表紙に初登場！ 自然光をまとい透明感あふれる花嫁姿を披露 現在の恋愛観や理想の夫婦像も語る

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）が4カ月に一度発行するウェディング情報誌『ゼクシィ国内リゾートウェディング 2025 Autumn & Winter』（2025 年 8 月 22 日（金）発売 ※一部地域を除く）の表紙に、モデル、女優と幅広い活躍を見せる加藤 史帆さんが登場します。概要をお知らせします。初の国内リゾートウェディング撮影に臨んだ加藤さんは、自然な光をまとい、透明感のあふれる花嫁姿を披露しています。また、インタビューでは恋愛観や理想の夫婦像なども語ってくれました。

■ 『ゼクシィ』の撮影が決まったときの思いは？「まさか私が!？」驚きと喜びの連続

『ゼクシィ』表紙を飾ると決まったときの思いを伺うと、「ずっと憧れていた雑誌なので、嬉しかったです」と喜びをかみしめていました。撮影では、ピンクのドレスが印象に残ったそうで、「ボリュームがすごくて、一人では動けないくらいふりふりでも可愛かったです。ただ、足の出し方を探るのがちょっと大変でした（笑）。でも、着ることができて嬉しかったです」とドレスの魅力を全身で体感したことを話してくれました。また、実際に結婚式を挙げるとしたら、「白の王道ドレスを着たいです。今回の撮影で白が似合うのかも気づけたので、ボリューム感のあるワンピース型のドレスが着たいです」と自分の理想の花嫁姿をすてきな笑顔で語る加藤さんが印象的でした。



■ 結婚への価値観も告白「結婚は“バディ”みたいな存在」

インタビューでは恋愛観や結婚観についても率直に語ってくれた加藤さん。「頑張っている人が好きで、お互いに頑張り合える関係が理想です。自分がシャイなので、相手にはちゃんと言葉で愛情表現してほしいです」と理想の恋人像を告白してくれました。そんな加藤さんの結婚のイメージは「結婚は『バディ』って感じです。一緒に生きていく相方のようなイメージです。小さい頃はパパっ子で、『お父さんと結婚する』って言ってました（笑）」。

さらに、「依存しすぎない、自立した夫婦が理想です。共働きで、お互いにそれぞれのことを頑張りながら支え合える関係。少しの距離感も大事だと思います」と理想の夫婦像についても話してくれました。

2025 年 8 月 20 日

■ これからの目標は？「もっといろんな自分に挑戦したい」

日向坂 46 を卒業して以降、「自分のための時間ができて、毎日が勉強です」と語る加藤さん。女優業を中心に、お芝居、英語、コスメのプロデュースなどにも挑戦したいと語り、「グループにいる時は一期生で、新メンバーに教える立場でもありましたが、まだ自分も成長したいと思っていて、そのジレンマがありました。卒業してからは全てが勉強です。お芝居も勉強中で、現場で成長できている実感があります。もっとポジティブな自分になって、理想の女性像に近づきたい」と力強く語ってくれました。

■ アザーカット



■ 出演者情報



加藤 史帆 Kato Shiho

1998 年 2 月 2 日生まれ。東京都出身。2016 年、『けやき坂 46 メンバーオーディション』に合格、けやき坂 46（現・日向坂 46）のメンバーとしてデビュー。2024 年 12 月 25 日、同グループを卒業。2019 年より『CanCam』の専属モデルを務める。主なドラマ出演作に「DASADA」シリーズ（日本テレビ）、『これから配信ははじめます』（テレビ東京）、『彩香ちゃんは弘子先輩に恋してる』（毎日放送）、『僕のあざとい元カノ from あざとくて何が悪いの?』（テレビ朝日）などがある

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>